

経済産業省
四国地方整備局
同時発表

令和4年9月6日
大臣官房技術調査課

CO₂を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを用いた埋設型枠を 国土交通省直轄工事現場で試行施工します ～グリーンイノベーション基金の成果を活用した現場試行工事の実施～

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、企業の野心的な挑戦を後押しするため造成された「グリーンイノベーション基金」における支援対象の1つとして「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発」プロジェクトが組成され、CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの開発や、その品質管理・固定量評価手法にかかる技術開発が行われています。

この度、経済産業省・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と国土交通省が連携し、グリーンイノベーション基金事業において開発したCO₂を用いたコンクリートの実証を目的として、国土交通省の直轄工事現場において試行的に活用する工事を実施することになりました。また、工事の状況等についての現地取材日を設けておりますのでお知らせします。

今後、試行結果を研究開発にフィードバックすることによって、CO₂排出削減・固定量を最大にするコンクリートの更なる研究開発を促すとともに、開発したコンクリートの社会実装を通じて、建設現場におけるカーボンニュートラルの実現に向けて取り組んで参ります。

(「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発」プロジェクト概要)

○研究開発項目:

- ①CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの開発
- ②CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの品質管理・固定量評価手法に関する技術開発

○本試行工事に係る事業実施者:

鹿島建設株式会社、デンカ株式会社、株式会社竹中工務店 等

○研究開発の成果:

既存の知見をベースに新たに開発したカーボンネガティブなCO₂吸収・固定化コンクリートの性能について実証を行っています。

(直轄工事概要)

○試行工事:令和3~4年度 日下川新規放水路管理道整備工事

○試行場所:高知県高岡郡日高村沖名(こうちけんたかおかぐんひだかむらおきな)

○工事受注者:鹿島建設株式会社

○試行内容:放水路トンネル工事における作業坑において、「CO₂を固定化し収支をマイナスにするコンクリート」を用いた埋設型枠により側壁部を施工します。

※埋設型枠とは、コンクリート打設後も取り外すことない構造物の一部となる型枠です。

◆◆試行工事の現地取材について◆◆

材料や施工状況については、令和4年9月9日(金)11:00～1時間程度の予定で、現地で取材可能です。(詳細は別紙のとおり)

取材希望の方は、9月8日(木)17時までに、下記連絡先までお申し込みください。

<問い合わせ先>

(全般について)

国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 吉田、係長 田住

TEL: 03-5253-8111(内線 22343,22305) / 03-5253-8125(直通) / FAX: 03-5253-1536

(工事及び現地取材について)

国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所 建設専門官 篠

TEL: 088-833-0111(内線 406) / 088-833-6904(直通) / FAX: 088-831-8570

(「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発」プロジェクトについて)

経済産業省資源エネルギー庁長官官房カーボンリサイクル室 課長補佐 大下、笠山、係長 桑原

TEL: 03-3501-1511(内線,) / 03-3501-1727(直通) / FAX: 03-3580-8564

CO₂を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを用いた埋設型枠の試行工事概要

試行工事：令和3－4年度 日下川新規放水路管理道整備工事 工事延長L=274m

<工事概要>

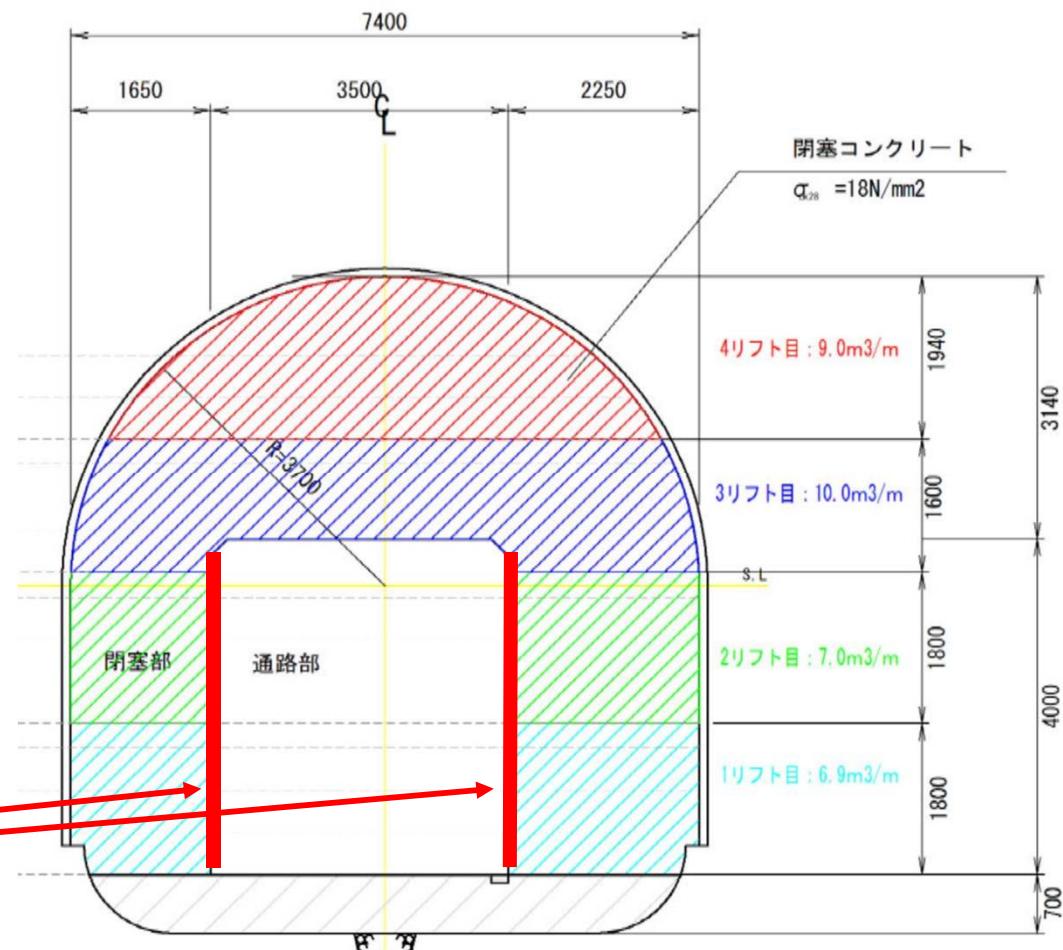
本工事は、日下川新規放水路の「作業坑」部を「管理用通路」として整備する工事である。

本工事の施工にあたり、CO₂を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを用いた埋設型枠を一部で使用する。



【試行工事の内容】

現状の作業坑を管理用通路として整備するために、コンクリートを充填
→その際、使用する型枠(側面)に、CO₂を固定化し収支をマイナスにするコンクリートを
用いた埋設型枠を使用



[試行工事取材場所 位置図]

取材をご希望の方は、
事前の連絡をお願いいたします。

<連絡先>
国土交通省四国地方整備局
高知河川国道事務所
建設専門官 篠 (かけひ)
(代) 088-833-0111 (内線406)
(直) 088-833-6904

